

【重点目標2 重点取組評価シート】

基本方針	電子図書館化を推進するため、ICTの進展に対応した図書館サービスの提供を図る。				
重点目標2	ICTの進展に即した図書館サービス提供の推進				
重点取組	ICTを活用した情報提供と環境整備の促進				
1 総合評価	R1年度	4	5: 目標を上回っている 4: 目標に達している 3: 目標の8割以上達している 2: 目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1: 目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度				
	R3年度				
2 評価理由	<p>データベース及びウェブサイト満足度が目標値に達していないものの、投入指標のデータベース入力件数が目標を大きく上回ったこと、また、データベース利用回数については新型コロナウイルス対策による臨時休館(2月29日～3月31日)の影響も考慮し、評価は「4」とした。</p> <p>なお、投入指標のうちデータベースの入力件数については、令和1年度は入力作業を最優先業務と位置づけ、熟練した職員が過去のデータも掘り起こして入力したことにより目標値を大きく上回ったが、令和2年度以降は、埼玉資料のデジタル化を優先的に進めること、職員体制の変更があったことから、目標値は修正しないこととした。</p>				
3 数値目標及び達成状況			R1年度	R2年度	R3年度
投入指標	埼玉関係雑誌記事索引データベース入力件数	目標値	1,000件	1,000件	1,000件
		実績値	2,093件		
		達成率	209%		
	埼玉人物文献索引データ入力件数	目標値	350件	350件	350件
		実績値	670件		
		達成率	191%		
	ウェブサイト更新回数	目標値	320回	320回	320回
		実績値	348回		
		達成率	109%		
活動指標	データベース利用回数	目標値	3,000回	3,100回	3,200回
		実績値	2,712回		
		達成率	90%		
	デジタルライブラリー、埼玉関係データベースの検索件数	目標値	15,000件	16,000件	17,000件
		実績値	16,407件		
		達成率	109%		
満足度	データベース満足度*1	目標値	4.0以上	4.0以上	4.0以上
		実績値	3.8		
		達成率	未達成		
	ウェブサイト満足度*2	目標値	4.0以上	4.0以上	4.0以上
		実績値	3.8		
		達成率	未達成		
*1 データベース満足度:5段階評価(利用者アンケートより算出) *2 ウェブサイト満足度:5段階評価(利用者アンケートより算出)					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
2-1	魅力的なウェブサイトの構築	利用者の視点に立ち、わかりやすく効果的な広報ページを作成・更新する。			投入指標 満足度
	実施状況	・県民の関心の高い情報等についてTwitterやブログも活用し多彩な情報提供を行った。 ・ウェブサイトトップページについて、サイトマップの追加、各バナーのレイアウト変更、ピクトグラムの導入などの中規模の見直しを行った。			

2-2	埼玉関係データベース及びデジタルライブラリーの充実	埼玉関係雑誌記事索引データ、埼玉関係人物文献索引データの入力を継続するとともに、デジタルライブラリーの公開方法について検討・実施する。	投入指標 活動指標
	実施状況	・ウェブサイトから雑誌記事索引等のデータやデジタル画像が検索できる機能を追加 ・利用規約を作成し、デジタル化資料にクリエイティブコモンズライセンスを付与	
2-3	所蔵資料等のデジタル化の推進	埼玉資料等のデジタル化を継続するとともに、デジタル資料利用基盤を視野に入れながらデジタルコンテンツを計画的に整備する。	投入指標
	実施状況	・デジタルアーカイブ委員会にて、埼玉県立図書館資料デジタル化年次計画を作成 ・埼玉関係の貴重書89点をデジタル化して公開	
2-4	データベースの利用促進	マニュアル整備、研修開催により職員のデータベース利用案内技術の向上に取り組むとともに、活用のきっかけとなる広報やイベントを実施する。	活動指標 満足度
	実施状況	・県市町村企業誘致連絡会議幹事会、埼玉北部地域技術交流会、彩の国ビジネスアリーナ、県庁職員向けデータベース活用講座でビジネス関連データベースのデモ等実施 ・歴史的音源の提供サービスを活用した鑑賞会「歴音で聞く名人落語」を開催	
2-5	オープンデータの利用促進	オープンデータの利用環境を整備し活用方法の広報・啓発、利用者向け講習会等を実施する。	その他
	実施状況	・「RESAS地域経済分析システム」のマニュアル作成	
2-6	公衆無線LANおよびインターネット利用端末の利用促進	公衆無線LANやインターネット情報利用端末を利用可能な施設であることを、在住外国人および外国人観光客にも分かりやすい形式で広報する。	その他
	実施状況	・ラグビーワールドカップ開催を機に外国人向けの公衆無線LANの利用案内を作成するとともに、観光庁作成の外国観光客向けシンボルマークを館内掲示した。	
5 取組による成果	<p>(1) 年間を通して多彩な情報提供を行い、また利用者目線でウェブサイトトップページを見直した。</p> <p>(2) 埼玉関係データベース及び資料のデジタル化については、検索機能を充実させるとともに、クリエイティブコモンズの付与によりデジタル化資料がオープンデータ化され、二次利用しやすい環境が整った。この結果、検案件数・アクセス数が増加し利用促進につながった。</p> <p>(3) データベースの利用促進については、情報の探しかた講座やビジネス関連の各種講座、県庁職員向け講座にて、各種データベースの紹介、操作研修を行い、参加者から高い満足度を得てその後の利用促進につながった。</p>		
6 課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <p>(1) 平成30年度の図書館システム更新以来、ウェブサイトがわかりにくい、検索機能等が使いにくくなったという利用者の声が寄せられている。利用者目線に立った見せ方のさらなる工夫が必要である。</p> <p>(2) 利用者アンケートでは「データベースを使ったことがない」「未記入」の回答が約9割を占めデータベースの周知が進んでいないことが伺え、アンケートの実施方法にも課題が残る。</p> <p>[次年度取組予定]</p> <p>(1) ウェブサイトの改善及びコンテンツの充実</p> <p>(2) 埼玉関係資料(古写真・貴重書等)のデジタル化を実施</p> <p>(3) データベース認知度向上のための広報充実・データベース活用講座の充実・拡大</p> <p>(4) データベースに関する利用者アンケートの実施方法の検討</p>		